



グループ「わ」「野鳥と自然観察会」だより ー楽しい活動にしましょうー

1. 9 月以降の活動結果報告

<例会・KSC 等>

9	22	金	世話人会	環境未来館	堀池	9	4月以降の活動報告、今後の活動予定確認。「たよりNo39」確認
9	27	水	環境部代表者会	KSC	堀池	1	各クラブ活動報告。助成金受領。
10	23	月	「わ野鳥」探鳥会	菊水山	豊辺	5	台風21号の余波、5人で実施。メジロなど9種を観察したが、風も残っており早々に下山。
10	29	日	「わ」野鳥観察会	しあわせの村	豊辺・中尾・堀池	20	台風22号の影響で、雨天プログラムを実施。スタッフを合わせて15人が参加。
11	5	日	KSC探鳥会	神戸森林植物園	堀池 豊辺	25	神戸森林植物園で探鳥。ペニマシコ等19種を確認。
11	16	木	巣箱総点検・植樹見学	しあわせの村各所	豊辺・茅中・池田	10	今年の利用状況を記録。来春までの利用のため各巣箱を清掃・消毒。
11	18	土	ピオトープ観察会(野鳥)	木津周辺	丸井・豊辺堀池	19	PPTで「身近な野鳥」について説明。後半は公園周辺でミニ探鳥会を実施。
11	27	月	「わ野鳥」探鳥会	神戸森林植物園	堀池	12	13人(会員外を含む)が参加。ペニマシコなど18種を観察。
12	2	土	KSC探鳥会	布引	堀池 豊辺	0	KSC参加者16名、18種を確認。担当は参加できず。
12	4	月	世話人会	こうべ環境未来館	堀池	9	活動状況の確認・次年度の計画立案の準備等

2. 3 月までの探鳥会・観察会等予定

12	22	金	「わ野鳥」探鳥会	有馬富士公園	新三田駅	9:30	丸井
1	12	金	「わ野鳥」探鳥会	明石公園	明石公園南入口	9:30	堀池
1	13	土	KSC探鳥会	甲子園浜	管理センター前	10:00	堀池 豊辺
2	3	土	KSC探鳥会	有馬富士公園	新三田駅	9:30	堀池 豊辺
2	14	水	「わ野鳥」探鳥会・昼食会	西神戸谷川	西神中央	9:30	丸井
2	未定		KSC総会	KSC	KSC		堀池 豊辺
3	1	木	「わ野鳥」探鳥会	平磯なぎさの池	山陽電鉄東垂水	9:30	堀池
3	8	木	ねぐら点検・植樹見学	しあわせの村各所	KSC	9:30	豊辺
3	22	木	「わ野鳥」探鳥会	木津周辺	こうべ環境未来館	9:30	丸井
3	22	木	世話人会	こうべ環境未来館	こうべ環境未来館	13:00	堀池

3. 巣箱総点検報告(豊辺氏からの報告を抜粋して再掲)

2017 年度の利用状況は、巣立ち：6箱（1箱で2番子）、巣作りのみ：18箱（9箱でヘビ被害）、ねぐら利用：9箱、不利用：17箱、巣箱合計：47箱でした。

今年は例年と比較すると巣箱利用が多いのに巣立ち数が非常に少ないことが目立ちます。その原因は例年になくヘビの被害が9箱と多く発生したことで、対策の検討がいそがれます。会員の皆様にヘビ対策として、有効と思われる案を募集していますので名案をご教示願います。

特筆すべきは、竹製巣箱2箱にキビタキの営巣、産卵が行われ、1箱で5羽のヒナが孵化、雌雄の親鳥が交互にエサを運ぶ様子が観察できたことです。残念ですが10日目にして巣に鳥の気配がなくなり、確認するともぬけのからで、おそらくはヘビかカラスにやられてしまったようです。もう1箱にも、キビタキと思われる4個の卵が確認されていましたが、これもいつの間にかなくなっていました。

KSC 里山, P6 に掛けていたキビタキ用木製の巣箱7箱は成績不良のため今回撤去しました。個々の巣箱についての点検結果は11月22日付けのメールに添付しました別紙2枚の巣箱総点検結果表にあります。これは小鳥たちにとって大切な個人情報になりますので、取り扱いには注意願います。

4. しあわせの村 第6駐車場のアキニレとナンキンハゼに数十羽のアトリ。ダイアンプ場のモミジバフウとの間を行き来している。(11.24)



シギ、チドリの仲間は冬の越冬地から夏の営巣地への移動の途中と、繁殖地から越冬地への秋の渡りの途中で僅かな一時を日本で過ごし、再び旅立って行きます。

今回はそんなシギ達の秋の渡り途中、播州平野でのほんの一部の姿を紹介します。この後、このシギ達は南半球の越冬地へと再び長い旅へと飛び立って行きました。

(1) ホウロクシギ (加古川河口で9月19日に撮影)

翼を広げると1mを超える大型の数の少ない旅鳥です。
この個体は嘴の色がやや淡い色なので、幼鳥と思われます。

(2) エリマキシギ (兵庫県稲美町で9月8日に撮影)

翼開長が50cm以上のやや大型の数の少ない旅鳥ですが、図鑑に有る様な見事な襟巻は繁殖期だけの姿なので、残念ながら日本では写真の様な地味な姿しか観察出来ません。

(3) オグロシギ (兵庫県稲美町で8月24日に撮影)

翼開長が70~80cmと大型の数の少ない旅鳥です。尾羽の先端部が黒いのが特徴です。今年運よく春の渡りの時も観察出来ましたがいずれも1羽だけでの飛来でした。

(4) ツルシギ (兵庫県稲美町で10月9日に撮影)

翼開長が60cmを超えるやや大型の数の少ない旅鳥です。繁殖地では雄は全身が黒くなりますが、残念ながら関西では写真の様な地味な冬羽根しか観察出来ません。

(5) ソリハシシギ (兵庫県稲美町で8月30日に撮影)

翼開長が44cmくらいのやや小型の干潟、砂浜等を通過するシギです。
今回は何故か内陸の休耕田で観察しました。

(6) コアオアシシギ (兵庫県稲美町で10月9日に撮影)

翼開長が55~59cmとやや大型の数の少ない旅鳥です。嘴が細くて真っすぐで、やや長いのが特徴です。

(1) ホウロクシギ



(2) エリマキシギ



(3) オグロシギ



(4) ツルシギ



(5) ソリハシシギ



(6) コアオアシシギ

